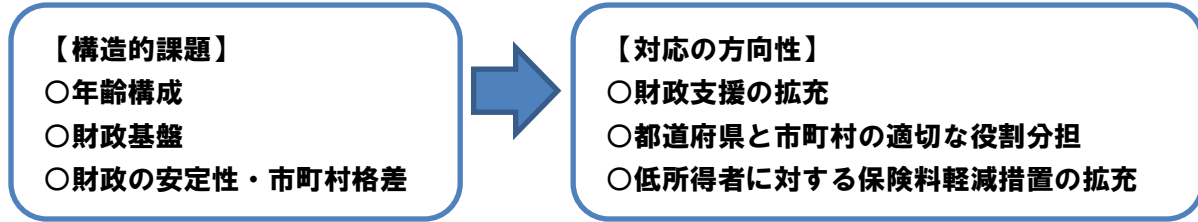


国民健康保険制度改革（国保の広域化）について

資料3

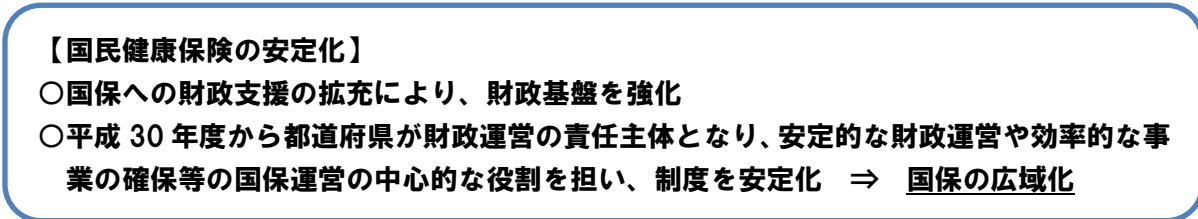
1 背景と経緯

(1) 市町村国保が抱える構造的な課題と対応の方向性



(2) 課題と方向性を踏まえた法改正(平成 27 年 5 月公布)

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」



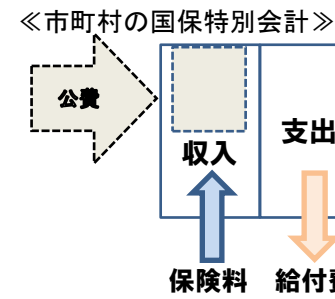
2 広域化後の国保運営に係る都道府県と市町村それぞれの役割

① 運営の在り方 (総論)	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県が県内の市町村とともに国保の運営を担う。 ○都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度を安定化 ○都道府県が県内の統一的な運営方針としての国保運営方針を示し、市町村が行う事務の効率化、標準化、広域化を推進 	
	都道府県	市町村
② 財政運営	<p>財政運営の責任主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村ごとの納付金を決定 ・財政安定化基金の設置・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保事業費納付金を県に納付
③ 資格管理	<ul style="list-style-type: none"> ・国保運営方針に基づき、事務の効率化、標準化、広域化を推進 ※④と⑤も同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と身近な関係の中、資格を管理(被保険者証等の発行)
④ 保険料の決定、賦課・徴収	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な算定方法等により、市町村ごとの標準保険料率を算定・公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準保険料率等を参考に保険料を決定 ・個々の事情に応じた賦課・徴収
⑤ 保険給付	<ul style="list-style-type: none"> ・給付に必要な費用を全額、市町村に対して支払い ・市町村が行った保険給付の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・保険給付の決定 ・個々の事情に応じた窓口負担減免等
⑥ 保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村に対し、必要な助言・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の特性に応じた、きめ細かい保健事業を実施 (データヘルス計画等)

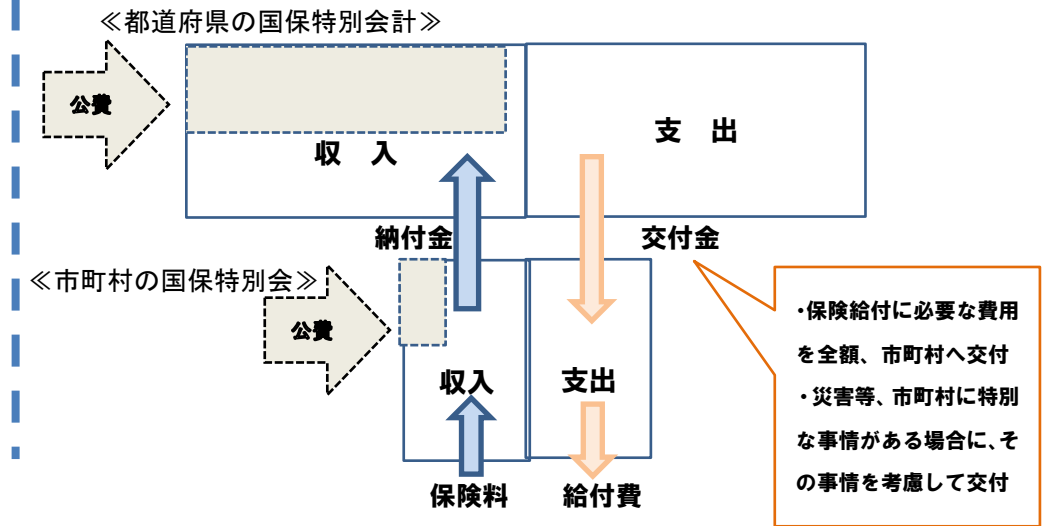
3 広域化後の国保財政の仕組み

- 都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村ごとの納付金額の決定や、保険給付に必要な費用を全額市町村に対して支払うことにより、国保財政の「入り」と「出」を管理する。
- 市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した納付金を都道府県に納入する。

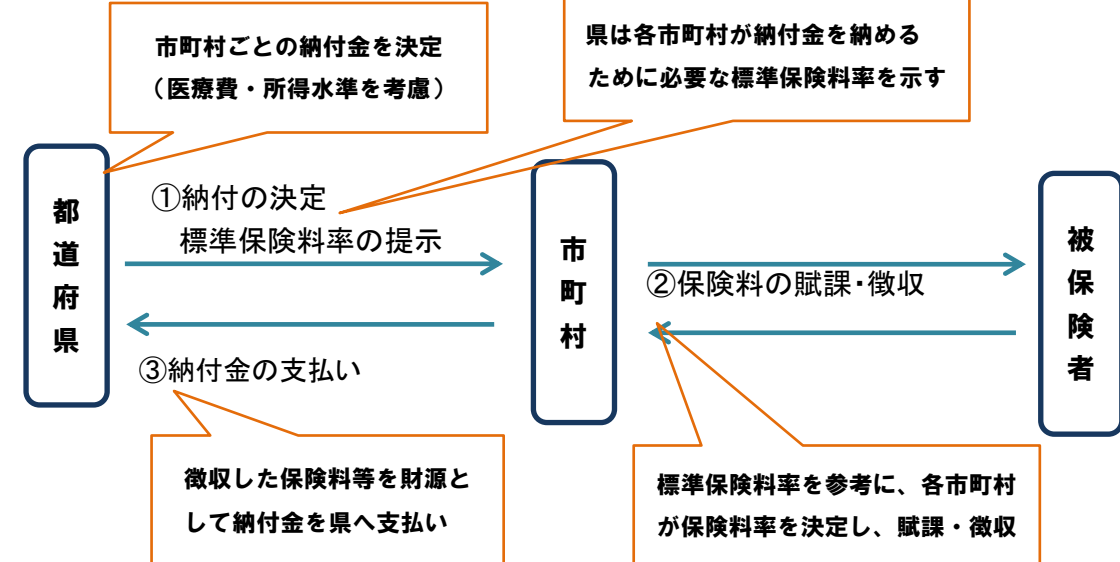
【現行】



【広域化後】



4 広域化後の保険料賦課・徴収の仕組み



5 標準保険料率を算定する考え方

○現状、国保の保険料は様々な要因(※)により差異が生じているため、他の市町村の保険料水準との差を単純に比較することは困難な状況

※ 年齢構成や医療費水準の差、保険料の算定方式、決算補てん等目的の法定外繰入金の実施 等

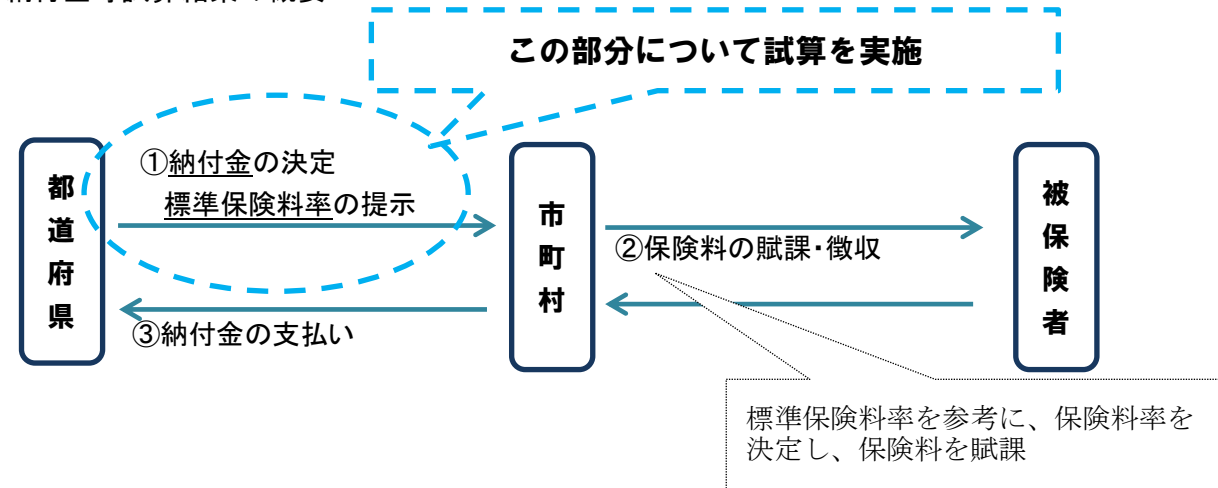
⇒ 都道府県が市町村ごとの標準保険料率を示すことにより、標準的な住民負担見える化。(将来的な保険料率負担の平準化を進める観点)

6 スケジュール

29 年 9 月	納付金額・標準保険料率の第 3 回試算結果通知【国・県→市】
29 年 11 月	愛知県国保運営方針の決定、納付金算定ルール等の検討・決定【県】
	納付金額・標準保険料率の仮算定結果通知【国・県→市】
30 年 1 月 ～3 月	納付金額・標準保険料率の本算定結果通知【国・県→市】
	当初予算案、条例等改正案を瀬戸市国民健康保険運営協議会に諮問・答申【市】
	当初予算案、条例等改正案を 3 月市議会上程・議決【市】
30 年 4 月	新制度の施行

国民健康保険事業納付金等の試算結果について

1 納付金等試算結果の概要



2 試算の前提

- 平成29年度に新制度を導入すると仮定した場合の納付金額等を試算
- 平成29年2月までの診療費をもとに推計した医療給付費を算定に使用
- 平成30年度から拡充される国の財政支援約1,700億円のうち、約1,200億円（愛知県分は約97億円）を反映
- 平成27年度実績との変動を少なくするため、医療費水準をすべて反映し、応益割：応能割を1：1として試算（前回は1：約1.2程度）

3 激変緩和措置について

- 新制度導入に伴う被保険者の保険料負担の急増を回避するため、激変緩和措置を実施
- 納付金額を被保険者数で除した1人当たり納付金額を27年度と比較し、増加率の上限を医療給付費等の自然増（27年度→29年度105.18%）までとして試算

4 試算結果

- 瀬戸市の納付金額：3,355,076千円
一人当たり納付金額：122,690円（愛知県平均：130,273円）
- 瀬戸市の標準保険料率

区分	医療分			後期支援分			介護分		
	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)
H29	6.88	25,111	25,585	2.09	7,693	7,838	1.69	7,884	5,803

【参考：瀬戸市保険料率の推移】

H29	6.20	22,900	23,600	1.97	7,355	7,584	1.70	8,170	5,940
H28	6.90	24,900	26,100	2.29	8,302	8,701	1.62	7,800	5,740
H27	6.90	24,900	26,600	2.43	8,656	9,260	2.37	10,960	8,060

4 各市町村の一人当たり納付金額等の県内順位

年齢調整後医療費指数 (全国平均:1)		
順位	市町村	指数
1	南知多町	0.992999992
2	名古屋市	0.952358541
3	豊明市	0.951661629
4	飛鳥村	0.944701453
5	東郷町	0.931976009
6	東栄町	0.92936508
7	大口町	0.926918637
8	清須市	0.925217581
9	瀬戸市	0.923424185
10	稲沢市	0.918690862
11	東海市	0.918617059
12	蟹江町	0.915703508
13	あま市	0.912973388
14	みよし市	0.912211282
15	扶桑町	0.910451055
16	大治町	0.908506492
17	東浦町	0.904110068
県平均		0.902885532
18	半田市	0.901074288
19	弥富市	0.899612998
20	一宮市	0.898844745
21	尾張旭市	0.898086994
22	美浜町	0.894853534
23	豊山町	0.893747729
24	豊川市	0.892852102
25	阿久比町	0.892783914
26	常滑市	0.890821355
27	長久手市	0.889125334
28	犬山市	0.886946997
29	江南市	0.885044519
30	豊根村	0.883290932
31	大府市	0.88319372
32	豊橋市	0.882510869
33	愛西市	0.880864028
34	津島市	0.879004702
35	日進市	0.878823542
36	岩倉市	0.876788855
37	春日井市	0.875729172
38	豊田市	0.875666399
39	刈谷市	0.868784287
40	蒲郡市	0.86671308
41	小牧市	0.865318144
42	知立市	0.865208846
43	知多市	0.864468922
44	岡崎市	0.861343465
45	設楽町	0.860141284
46	北名古屋市	0.854960772
47	西尾市	0.854773329
48	武豊町	0.852851318
49	高浜市	0.852747062
50	碧南市	0.84909444
51	新城市	0.841995526
52	安城市	0.827763101
53	幸田町	0.818458092
54	田原市	0.775688355

一人当たり所得金額 (単位:円)		
順位	市町村	金額
1	飛鳥村	1,013,284
2	田原市	869,259
3	南知多町	866,126
4	長久手市	864,120
5	大府市	829,765
6	日進市	820,303
7	安城市	817,365
8	碧南市	811,712
9	豊田市	805,374
10	西尾市	794,984
11	刈谷市	794,210
12	みよし市	782,273
13	東海市	780,963
14	幸田町	757,483
15	岡崎市	756,486
16	知立市	756,359
17	小牧市	756,133
18	弥富市	753,068
19	東郷町	747,538
20	豊山町	741,186
21	東浦町	732,497
22	高浜市	730,116
23	豊明市	727,383
24	春日井市	725,985
25	尾張旭市	721,601
26	北名古屋市	717,721
27	知多市	716,242
28	大口町	714,630
29	阿久比町	714,552
30	大治町	712,667
31	半田市	707,260
32	清須市	706,922
県平均		702,945
33	蟹江町	693,799
34	武豊町	688,699
35	美浜町	683,861
36	稲沢市	682,716
37	愛西市	681,287
38	常滑市	673,900
39	名古屋	669,574
40	蒲郡市	665,877
41	豊川市	662,148
42	設楽町	659,459
43	あま市	658,866
44	扶桑町	658,477
45	豊橋市	656,939
46	犬山市	653,029
47	新城市	646,567
48	岩倉市	645,670
49	江南市	641,397
50	津島市	628,424
51	一宮市	624,992
52	瀬戸市	602,030
53	東栄町	588,176
54	豊根村	529,674

一人当たり納付金額 (29、激変緩和措置対応後 パターン(A) 自然増(5.18%)) (単位:円)		
順位	市町村	金額
1	南知多町	153,296
2	長久手市	139,324
3	蟹江町	137,916
4	清須市	136,589
5	春日井市	136,117
6	大治町	135,789
7	東海市	135,214
8	田原市	134,827
9	名古屋市	134,628
10	安城市	133,089
11	小牧市	132,902
12	西尾市	132,864
13	東郷町	132,659
14	知立市	132,107
15	日進市	132,031
16	阿久比町	131,211
17	みよし市	130,967
18	大府市	130,767
19	飛鳥村	130,633
20	東浦町	130,467
21	碧南市	130,462
22	刈谷市	130,302
県平均		130,273
23	北名古屋市	130,247
24	大口町	130,065
25	岡崎市	130,013
26	弥富市	129,564
27	豊田市	129,369
28	豊根村	129,097
29	尾張旭市	128,754
30	あま市	127,898
31	豊明市	127,494
32	蒲郡市	126,650
33	美浜町	126,582
34	幸田町	126,462
35	稲沢市	126,306
36	愛西市	125,799
37	豊山町	124,960
38	一宮市	124,765
39	豊川市	124,533
40	半田市	123,921
41	常滑市	123,888
42	豊橋市	123,135
43	高浜市	122,863
44	津島市	122,791
45	瀬戸市	122,690
46	岩倉市	122,636
47	扶桑町	122,578
48	江南市	121,074
49	知多市	120,251
50	武豊町	119,067
51	新城市	116,903
52	犬山市	113,687
53	設楽町	96,791
54	東栄町	90,686